

精神障害者のふれあい交流サロンにおける新たな取組の検討状況について

1 事業概要

ひきこもりがちな精神障害のある方に対して、気軽に交流できる場を提供し、自立と社会参加、地域住民との相互理解、地域精神保健福祉の普及啓発を促進する。

2 見直しの方向性

本市の厳しい財政状況の中、事業を持続可能なものとするため、より効果的、効率的なものとなるよう見直す。

- ・事業者の積極性に繋がる仕組みとして、これまでの固定費のみの委託は見直し、活動実績に応じた費用を支払う。
- ・居場所提供事業を継続するだけでなく、新サービス（訪問や電話による相談、外出のサポート等）を導入するなど、事業者の特性に応じた柔軟な事業拡大を可能とする。

3 新たな事業イメージ

- (1) 安心できる居場所の提供・運営
- (2) 相談支援（訪問・来所・電話）
- (3) 社会参加の促進に向けた外出支援
- (4) 医療機関やその他の関係機関と連携した支援
- (5) 精神障害やひきこもり等に関する問題について理解を深めるための啓発活動
- (6) ボランティア活動を希望する市民に活動の場を提供し、サロンでの交流を通じた市民参加型の精神保健福祉施策の展開